

広報

EBETSU

えべつ

あなたとまちをつなぐ

目次

- 2 特集 広報えべつ 1000 号を迎えて
- 6 新型コロナワクチン 最新情報 ほか
- 7 国民年金保険料をお得に納付しませんか？
- 8 スマートフォンアプリ構築中 ほか
- 9 令和5年度 会計年度任用職員の募集 ほか
- 23 グレシャム市・江別市 姉妹都市提携 45 周年

2023

2

vol.1000



令和5年 はたちのつどい

【特集】情報を伝え続けて73年 広報えべつ 1000号を迎えて

日頃より広報えべつをご愛読いただき感謝いたします。おかげさまで広報えべつは令和5年2月号で1000号を迎えることができました。

昭和25年に「町政だより」として始まり、「市政だより」に名称を変えながら市の情報を伝え続けてきた広報えべつ。今月号では1000号達成を記念して、1000号の歴史を振り返り、広報えべつを支えてくださった市民の皆さんへの感謝を込めて、特集をお届けします。

【詳細】 広報広聴課 ☎ 381-1009

広報えべつは、これからも皆さんに、よりわかりやすく情報をお届けできるよう努めていきます。広報えべつに関するご意見や感想などがありましたら、広報広聴課へお寄せください。

▼ 郵送・ファクスで送る

〒067-8674 高砂町6 江別市広報広聴課宛

FAX 381-1149

▼ 市HPアンケートフォーム

市HP内「広報えべつ」を検索するか右QRコードを読み込んでください



紙面で振り返る 広報えべつ

70年以上の歴史がある広報えべつは、発行から今までどのような内容をお届けしていたのでしょうか。これまでの紙面とともに振り返ります。

はじまりは、昭和25年 江別が“町”だったころ…

広報えべつのはじまりは、江別がまだ人口約3万人の「江別町」だった、昭和25年に発行された「町政だより」でした。

第1号では、町長からのメッセージや町の予算などが掲載されていました。現在とは違い、新聞のようなレイアウトの紙面でした。



昭和41年、 広報えべつ発行



318号として発行され、デザインも大きく変わりました。

昭和29年 町から市に

昭和29年、人口が3万4千人を超え、市制が施行され、「江別市」となりました。「町政だより」から「市政だより」に変わり、「広報えべつ」に変わる昭和41年までの間、市の情報を届けてきました。広報えべつは、市政だより第1号から数えて、1000号を迎えます。

「町政だより」と比べると、写真やイラストが多く使われるようになり、工夫が凝らされた読みやすい紙面へと変わっていきました。



平成12年、表紙がカラー印刷に



表紙のデザインが変わり、一部カラー印刷も始まりました。728号では「やきもの」についての特集が掲載されました。

昭和56年、500号達成



市のお知らせだけでなく、市民の活動の写真や市民へのインタビューなども掲載されるようになりました。

広報えべつを伝えるかたち

「声と点字」

広報えべつには紙版だけでなく、音声版と点字版があることをご存じですか。これらは市内のボランティア団体の皆さんによって作られており、市の情報をより多くの人に伝えるために重要な役割を果たしています。

音声は「朗読ボランティアグループ まちの灯」、点字は「点字ろくの会」の活動です。それぞれの団体から話を聞きました。



「声で伝える」
朗読ボランティアグループ
まちの灯

どんな活動をしていますか

広報えべつや市の発行物などを朗読、録音をしています。

情報図書館の録音室や自宅で、専用の機械を使って録音します。広報えべつは、会員約50人のうち、12人が担当しています。

広報えべつの原稿が出来上がってから録音するまでの期間は10日程度。毎月28ページ程度の内容を担当に分かれて録音、編集し、CDを作成しています。CDは、利用者さんへ郵送しています。

市の発行物のほかにも、独自で企画と取材をして制作している「タウン江別」という生活情報誌も録音しています。市内の飲食店の紹介もしているため、利用者さんから人気も高く、楽しみにしてもらっています。



活動の魅力は何ですか

「何かボランティアがしたい」「誰かの役に立ちたい」「本を読むのが好き」などの理由で、活動を始める方が多くいます。「利用者さんに良いものを届けたい」という目標を持って、仲間と楽しく活動できるのが魅力です。つらいことがあっても、同じ目的を持った仲間がいるから頑張れていると思います。

また、活動を始める前には

半年間の講習を受けることができます。魅力です。講習では、話すように読む方法やアクセント辞典でアクセントの付け方を学ぶことができます。

録音をする前には原稿を一字一句じっくりと読むので、自然と知識を増やすことができます。コロナ禍前には、目の不自由な利用者さんとの懇談会も行っていて、実際に聞いてくれている方との交流は、とても充実した時間でした。利用者さんから「江別市に引越してきて、広報えべつのCDを聞いて、はじめて江別市民になれた気がした」と聞いたときは、とてもうれしく、やりがいを感じました。

まちの灯の皆さん
(広報えべつ担当)



▼音声版の広報えべつは、市ホームページからも聞くことができます

希望する方には無料でCDを発送しています。また、令和4年7月号から、目の不自由な方だけでなく、多くの人が利用できるよう、市ホームページでも公開しています。

下のQRコードからご確認ください。



広報えべつ が発行されるまで

広報えべつはどのようにつくり、発行されているのでしょうか。

企画

年に数回掲載している特集の内容を企画したり、市役所の各部署から記事を募集し、ページを構成します。

「みんなのひろば」に掲載する記事は、市内の市民団体から募集しています。

作成・取材

広報広聴課の職員が必要に応じてインタビューや写真撮影を行い、デザインやレイアウトを工夫しながら専用のソフトウェアを使って紙面を作ります。一部の紙面（お知らせなど）の作成は、業者に委託しています。

印刷・配布

作成された紙面は、印刷会社で印刷製本され、配送業者を通して、毎月末日までに、各自治会の区長や班長へ届けられます。区長や班長に届いた後は、毎月6日までに各世帯に配布していただきます。（広報えべつには、7日以降の内容を掲載しています）

市民協働の観点から地域の皆さんに協力していただきながら配布していますが、自宅に届かない方のために、駅、スーパー、コンビニ、公共施設など市内120か所以上に設置しています。自宅に届かない方は、お近くの施設やよく行くお店で入手していただきますようお願いいたします。広報えべつが配架されている施設などはホームページに掲載していますので、ご覧ください。



※ 音声CDと点字の広報えべつをご希望の方は、障がい福祉課（☎381-1031）までご連絡ください



〈点字ろくの会〉点字の印刷

【点字の伝え】 点字ろくの会

どんな活動をしていますか

活動内容は、広報えべつなどの市の発行物の点訳や依頼された本の点訳、市が開催している点字講習会の講師などを行っています。

広報えべつの点字版の作成は、担当を交代しながら、読

みやすく分かりやすくなるよう工夫しています。

会員は2年間の養成講座を受講した方がほとんどですが、点字に興味があれば誰でも活動に参加できます。点字は覚えることが多く、点訳をしながら日々勉強したり、会員同士で教え合いながら活動しています。

点訳はパソコンの点字ソフトで打ち込みます。打ち込んだデータはメールで送ったり、製本して郵送するなどして、利用者さんに届けています。製本された本は、情報図書館で読むことができます。

活動の魅力は何ですか

本の点訳をするので、本が好きで始めた方が多く、普段

読まない本やさまざまなジャンルの本と出会うことができ

るのが魅力です。一冊の本を点訳するために一字一句丁寧に2〜3回読んでいます。また、社会との関わりを持ちたい、誰かの助けになりたいとの思いから始めた方もいます。

会の目標は、「目の不自由な人に少しでも喜んでもらいたい」ということ。一人ひと



〈点字ろくの会〉点字講習会

りの力は小さくても、集まることで大きな力になると思います。これからも活動を続けていくために、新しい会員も募集しています。

▼点字講習会を受講してみませんか

市が開催している点字講習会です。月2回、基礎講座と応用講座をそれぞれ1年間かけて学びます。受講者は毎年3月に募集します。詳しくは広報えべつ3月号に掲載予定です。

広報えべつは、これからもボランティアの皆さんの力を借りて、市の情報を伝えていきます。

ワクチン接種は任意です

新型コロナワクチン接種は強制ではありません。接種後に得られると期待される効果と、予想される副反応をよく考え、ワクチン接種をするかどうかを決定してください。



新型コロナワクチン 最新情報

※ 掲載内容は後から変更される場合があります

【詳細】 新型コロナウイルス感染症対策室 ☎ 385-8910

乳幼児（生後6か月～4歳）の 接種券申請

乳幼児の新型コロナワクチン接種券を取得する場合は、接種券の発行申請が必要です。

申請方法は市ホームページをご確認ください。



ワクチンの予約 / お問い合わせ先

■ インターネット予約

市のホームページ（右のQRコード）から予約してください。

※ アクセスが集中すると、つながりにくくなる場合があります。



■ 電話予約 / 予約のお問い合わせ

江別市新型コロナワクチンコールセンター

☎ 011-600-1234 (8:45～17:15)

※ 土日、祝日も受け付けています。

■ 副反応などに関するお問い合わせ

北海道専門相談ダイヤル

☎ 0120-306-154 (9:00～17:30)

※ 土日、祝日も受け付けています。

お知らせします。

今後については、詳細が決まり次第

お知らせします。

性が示されています。

1月13日時点で、4月以降のコロナ

計画的に接種を行ってください。

ありますので、接種を希望される方は、

日程、会場での接種ができない場合が

年度末になると、必ずしも希望する

程も縮小しています。

また、2月からは、病院での接種日

接種を行っていません。

1月からは、青年センターでの集団

います。

順次、接種会場、接種日程を縮小して

が落ち着いてきたため、令和5年から

新型コロナワクチン接種の予約件数

新型コロナワクチンを未接種で
接種を希望する方は、計画的な接種を



接種券の発行、再発行の申請

接種券を紛失した場合は再発行、他市町村から転入された場合は発行の申請が必要です。転入された場合、自動的に接種券は届きませんので、ご注意ください。

発行、再発行の申請は、市ホームページからできます。発行には1週間程度かかりますので、早めの申請をお願いします。



市立病院 連載コラム 経営再建の軌跡

第5回 予防医療の充実

市では、健康寿命を延ばし、誰もが健康的に安心して暮らせるまちを目指して、平成29年4月に「健康都市宣言」を行いました。

健康都市えべつの実現のため、市立病院では、皆さんが病気になったり、病気が悪化する前に健康状態を確認できるよう、健診にも力を入れています。

特に、市では男性・女性ともに、がんの死亡割合が高く、その中でも「気管・気管支および肺」のがんで亡くなる方の割合が多い傾向にあります（えべつ市民健康づくりプラン21(第2次)）。このことから「肺がん」の早期発見・治療につなげるため、北海道大学呼吸器内科学講座の監修・協力のもと、令和4年9月から「高機能肺ドック」を開始しました。

健診の充実を図ることで、市民の皆さんが自身の健康状態を確認する機会を増やし、病気の予防につながるだけでなく、市立病院が持つ医療資源の活用も図る

市立病院では、令和3年3月に策定した「経営再建計画」に基づき、経営改善に取り組んでいます。本コラムでは、収益向上策や費用削減策、新たな取り組みなどを、隔月で連載します。【詳細】市立病院経営改善担当 ☎ 382-5151

ことができます。

今後も、経営再建計画の達成に向け、引き続き改善への取り組みを進めてまいります。

【高機能肺ドック】

一般的な呼吸機能検査（スパイロメトリー）に加え、機能的残気量（FRC）、肺拡散能力（DLCO）検査をセットで実施することで、慢性閉塞性肺疾患（COPD）など、肺がん以外の肺疾患の発見率が向上します。

また、一般的な胸部X線撮影ではなくCT撮影を実施することで、小さな病変の早期発見が可能です。

【高機能肺ドックについての問い合わせ】

市立病院健診センター ☎ 382-5151

※予約受付時間 平日 11:00～16:00



納付方法による保険料額の違い (令和4年度)

年間支払額 19万9,080円 (毎月翌月末に納付した場合。令和4年度月額1万6,590円)		
納付方法	口座振替	現金・クレジット
2年前納 (※1)	2年間の支払額 38万1,530円 15,790円割引	2年間の支払額 38万2,780円 14,540円割引
1年前納	年間支払額 19万4,910円 年間 4,170円割引	年間支払額 19万5,550円 年間 3,530円割引
6か月前納 (※2)	年間支払額 19万6,820円 年間 2,260円割引	年間支払額 19万7,460円 年間 1,620円割引
当月末振替 (早割)	年間支払額 19万8,480円 年間 600円割引	取り扱いなし ※割引のない翌月末振替は可能

(※1) 令和4年度と令和5年度の保険料額の合計

(※2) 4～9月分と10月～翌3月分をそれぞれ前納した場合

国民年金保険料を お得に納付しませんか？

国民年金保険料の納付期限は翌月末ですが、申請して前納（前払い）すると、左表のとおり割り引きになりお得です。
納付忘れも防げますので、ぜひご利用ください。

●納付方法と納付期間
【現金払い】
任意の月から翌年度末分まで。最長で4月から翌々年3月までの2年分納付できます。

【詳細・申請先】
国保年金課 ☎381・1028
新さっぽろ年金事務所
☎892・9316

- 【口座振替、クレジットカード払い】
- ①2年（4月～翌々年3月分）
 - ②1年（4月～翌年3月分）
 - ③6か月（4月～9月分、10月～3月分）
 - ④当月末 ※口座振替のみ
のいずれか。

●申請方法

次のものを用意し、申請先で申請してください。

- ・基礎年金番号通知書などの基礎年金番号が分かるもの
- ・口座振替の場合は預金通帳と通帳届出印
- ・クレジットカード払いの場合はクレジットカード

●申請期限

口座振替、クレジットカード払いで4月から前納する場合は、2月末（10月からの6か月前納を希望の場合は、8月末）

付加保険料月額400円を上乗せすると 老齢基礎年金の増額ができます！

国民年金の定額保険料に付加保険料月額400円を上乗せして納付すると、老齢基礎年金の受給額を増やすことができます。

●申請できる方

国民年金第1号被保険者
任意加入被保険者（65歳以上の方を除く）
※国民年金基金の加入者は、申請できません

●付加年金額

年額「200円×付加保険料納付月数」が上乗せされるため、2年以上受け取ると支払った付加保険料以上の年金が受け取れます。

●申請方法

年金手帳などの基礎年金番号がわかるものを用意し、申請先で申請してください。



スマートウォッチなどの
配布要件も説明します！

市民説明会

「生涯健康プラットフォーム」の
説明会を開催します。

また、このアプリを利用される方
を対象に、スマートフォンやスマー
トウォッチの配布を予定していま
す。配布方法や要件な
どは、説明会当日に説
明します。



【会場】 市民会館

【日時】 2/21(火) 18:30 ~ 20:30

【申込方法】 2/20(月)までに市民説
明会受付センター（キャリアバンク
株）へ電話（☎ 251-0131）または
申込フォーム（右下のQRコード）
で申し込み。

※ 電話受付は平日 10 時 ~ 17 時

※ 定員になり次第、受
付けを終了することが
あります



※ 画面はイメージです

市では、市民の皆さんの健
康意識の向上、健康づくりの
推進のため、デジタル技術を
活かした「生涯健康プラッ
トフォーム」の構築を進めてい
ます。

お使いのスマートフォンに
アプリをインストールする
と、ご自身の健康状態をいつ
でも手軽に確認できるよう
になります。一人ひとりに合っ
た健康維持のサポートとし
て、日々の健康づくりに役立
てることができま

スマートフォンアプリで どんなことができる？

健康管理アプリ「ライフトレーナー」

スマートフォンなどで自身の健康状態をい
つでも確認でき、日々の健康維持のサポート
に役立ちます。

【ライフトレーナーでできること】

- ① 摂取カロリーなどの目標設定ができる
- ② 受診した健診結果などを入力することで、
毎年の健診データが蓄積できる
- ③ AI が自分の健康状態を評価してくれる
- ④ 入力した情報に基づいて AI による健康面
や食事に関するアドバイスが受けられる

お買い物アプリ「えべつ市場」

健康に良い食品を始め、江別の特産品や食
材などを取り扱う食のセレクトショップで
す。日々の食生活に適切に取り入れることで、
健康の増進に役立ちます。

※ 生涯健康プラットフォーム推進事業は、内閣府が推
進する「デジタル田園都市国家構想推進交付金」の採択
を受けています

※ 使用開始時期などの詳細は、今後の広報えべつでお
知らせします

※ 各アプリの名称は仮称です

市民の皆さんの健康増進を目指して スマートフォンアプリ構築中

詳細
デジタル政策担当

☎ 802-83315

スマートフォンを触ってみませんか？ スマートフォン体験教室

参加無料

スマートフォンの購入を考えている方や、スマートフォンを
便利に使いたい方向けの教室です。実際に触って基本的な使
い方や活用方法などを体験できます。

会場	実施日	時間	定員	持ち物	申込方法
野幌公民館	2月14日(火)	午前の部 10:00 ~ 12:00	各会場 先着 15名	不要 ※ 参加者にはス martフォンを 貸し出します	2月10日(金)までに電話で申し込み 【申込先】 受付専用ダイヤル（北海道テレ コムコンサルタント株） ☎ 384-9111 または 384-9192 【受付時間】 平日 10:00 ~ 15:00
中央公民館	2月15日(水)				
大麻公民館	2月16日(木)	午後の部 13:30 ~ 15:30			

※ 上記のアプリの体験会ではありません

令和5年度 会計年度任用職員の募集

※ 令和5年度会計年度任用職員の任用期間は令和5年4月1日から令和6年3月31日までです。
勤務実績などによって任期を更新する場合があります。また、各応募先の報酬額は令和4年度の単価です。

陶芸指導員(若干名募集)

勤務場所:セラミックアートセンター 締切:2/12(日)(必着)

【業務内容】各種陶芸教室・講座の技術指導、制作品の素焼・本焼・釉薬の指導、工房事業の企画立案、陶芸器材の管理・調整など

【勤務時間】週5日勤務(週30時間) ※土日祝日に勤務可能な方

【報酬】月額116,593円～123,948円
※ 通勤手当、期末手当(賞与)は規定に応じて支給

【応募資格】次の①～④のいずれかに該当する方
① 陶芸に関する専門知識・技能経験がある方
② 大学・短大・専門学校などの芸術・美術課程などで陶芸を専攻していた方
③ 陶磁器関係の研究所などを卒業・修了した方
④ 陶磁器関係の職に従事した経験のある方

【応募方法】履歴書(3カ月以内に撮影した顔写真を貼付)に卒業見込証明書または卒業証明書の写しを添付し、郵送または持参

【応募先】セラミックアートセンター (☎385-1004)
〒069-0832 西野幌114-5

障がい児の相談支援専門員(若干名募集)

勤務場所:子ども発達支援センター 締切:3/3(金)(当日消印有効)

※ 障がい児の相談支援専門員募集は、広報えべつ1月号で掲載しましたが、報酬と応募資格が変更となったため、再度掲載しています。

【業務内容】障がい児支援利用計画の作成、障がい児童の相談業務全般

【勤務時間】週4日勤務(週30時間)

【報酬】月額163,587円(専門員の資格がない場合は、月額128,438円～163,587円)
※ 通勤手当、期末手当(賞与)は規定に応じて支給

【応募資格】相談支援専門員もしくは、社会福祉士・精神保健福祉士・心理士・保健師・看護師・保育士・教諭・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のいずれかの資格を5年以上有し、普通自動車運転免許を有し、パソコンの基本操作ができる方
※ 障がい児・障がい者の相談業務経験者歓迎

【応募方法】履歴書(3カ月以内に撮影した顔写真を貼付)に資格証の写しを添付し、郵送または持参

【応募先】子ども発達支援センター (☎384-3003)
〒069-0811 錦町14-87 総合社会福祉センター内

子育て支援コーディネーター(1名募集)

勤務場所:子ども育成課、ぽこあぼこ 締切:3/3(金)(当日消印有効)

【業務内容】乳幼児の子育てに関する相談対応や教育・保育施設・託児など子育て支援サービスの情報提供など

【勤務時間】週4日勤務(週30時間)

【報酬】月額116,593円～128,438円
※ 通勤手当、期末手当(賞与)は規定に応じて支給

【応募資格】次の①～③の条件を満たす方
① 保育士または幼稚園教諭の資格を有し、主任業務または地域子育て拠点事業での実務経験が1年以上ある方
② 普通自動車運転免許を有する方
③ パソコンの基本操作ができる方

【応募方法】履歴書(3カ月以内に撮影した顔写真を貼付)に資格証の写しを添付し、郵送または持参

【応募先】子ども育成課 子育て支援センター事業推進担当
(☎381-1108) 〒067-8674 高砂町6

心理発達相談員(1名募集)

勤務場所:保健センター 締切:2/20(月)(必着)

【業務内容】乳幼児健診などにおける心理相談や発達検査、健診事後教室におけるグループ指導や個別相談、乳幼児の発達に関する相談や助言など

【勤務時間】月～金曜日 8:45～15:30(途中休憩45分)
週5日勤務(週30時間)

【報酬】月額146,090円～155,767円
※ 通勤手当、期末手当(賞与)は規定に応じて支給

【応募資格】公認心理師、臨床心理士、臨床発達心理士、または認定心理士で、発達心理業務の経験が1年以上あり、普通自動車運転免許を有し、パソコンの基本操作ができる方

【応募方法】履歴書(3カ月以内に撮影した顔写真を貼付)に資格証の写しを添付し、郵送または持参

【応募先】保健センター 管理係 (☎391-8036)
〒067-0004 若草町6-1



立候補届出説明会を実施します

(詳細) 選挙管理委員会事務局 ☎381-1052

- 2023年統一地方選挙 -

道議、市長、市議の立候補予定者を対象に、スムーズに立候補の手続きをしていただくため、右のとおり説明会を実施します。なお、会場の都合により、出席者については、1人の候補予定者につき2名までとします。

対象	日時	会場
道議	3月2日(木) 13:00～17:00	市民会館 36号
市長・市議	3月8日(水) 13:00～17:00	市民会館 小ホール